

弘前市立博物館

ニュースレター

No. 19

Hirakawa City Museum Newsletter

■5月の展示入れ替わり

桜も終わりましたが、日ごとの寒暖差もあり、少しずつ季節の進みを感じるこの頃、読者の皆様におかれましては体調などくずされてはいないでしょうか。

博物館では、おかげさまで盛況のうちに「佐野ぬい追悼展」の閉幕を迎え、さらに続く「巨匠たちのパレット&絵画展」を無事にスタートさせております。

佐野ぬい追悼展については、開幕直後から大変多くのお客様より反響をいただきました。最終的には7,700人を超える入館者数となり、近年の当館企画展としては最も多くのお客様を迎えることができました。展覧会の開催に当たってご協力いただいた皆様、そしてご来館いただきました皆様、誠にありがとうございます。また、この後7月からは青森県立美術館さんで佐野ぬい回顧展の開催も予定されています。ぜひそちらへも足をお運びいただき、また佐野ぬいさんへ思いをはせていただければと思います。

なお、現在開催中の巨匠たちのパレット&絵画展でも、佐野ぬいさんの作品とパレットを1点ずつ追悼展から継続して展示しております。学芸員によると、佐野さんの展示順に

もちょっとした工夫があるとのこと。どんな展示になっているか、ぜひこちらも直接会場にてご覧いただけましたら幸いです。（館長）

■特別企画展1「巨匠たちのパレット&絵画展」紹介

本展は、ずばり「画家のパレット」をメインにご覧いただく展覧会です。皆様は、画家のパレットをご覧になったことはあるでしょうか？画家の個展などで、画材と合わせた道具の一つとしてご覧になったことはあるかもしれません。

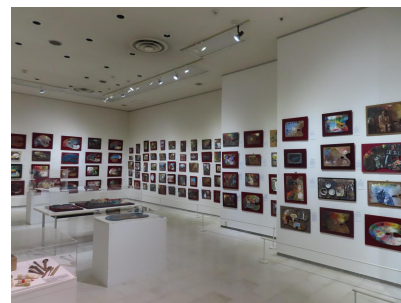
しかし、今回は実に29人の画家たちのパレットを一度に見られるのです！このような展示ができるのは、笠間日動美術館（茨城県笠間市）所蔵の「パレットコレクション」という世にも珍しいコレクションの一部をお借りできたため、実現しています。他の博物館・美術館には同種のコレクションは無く、本巡回展ならではの展示となっています。

【パレットコレクションとは？】

笠間日動美術館のパレットコレクションは、実に350以上にもなる一大コレクションです。今回の展覧会で展示したものは、ほんの一部にすぎません。

そもそも笠間日動美術館は、画商である日動画廊創設者・長谷川仁氏により設立されています。画家のパレットをこれほど集められたのも、普段から作品をやりとりする画商ならではのといえます。コレクション対象も高い知名度を誇る海外作家から、国内の有名作家、また現在活躍する現存作家のパレットまで幅広いものとなっています。

パレットには、それぞれの作品でよく使用される色もあれば、下地などで使うため見えない色など、全て残っています。また、パレットそのものの素材や絵具の付け方など、作家自体の個性もよくわかります。また、日動さん側へ寄贈される際に画家たちが描き入れたワンポイント絵画も見どころ！画題も好きなモチーフやサインなど、多種多様です。



↑笠間日動美術館の「パレット館」
同館では、パレットコレクションの一部を常設展示しています。



【作品介绍 ～チラシ掲載作品から～】

・パブロ・ピカソ「画家とパレット」

多くの方がご存じであろう、20世紀の世界を代表する画家のひとり、パブロ・ピカソ。本展では、そんなピカソの絵画作品を特別に2点お借りし、さらに本人が使用していたパレットも展示しております。

「画家とパレット」は、本展にちなんだ象徴的な作品として、ポスターやチラシなどの広報物に使用しました。作品のモデルは、「パレットを持った画家＝ピカソ自身」とされます。制作年は1962年と、ピカソ晩年の作品といえます。この時期のピカソは、「画家とモデル」というテーマに関心をもって制作活動をしており、絶え間なく制作する自分自身はこのテーマにうってつけであったものと考えられます。
(※著作権で画像掲載できないため、チラシも合わせてご参照ください)

・アンリ・マティス「パレット」

こちらも世界に知られる20世紀を代表する画家のひとり、アンリ・マティス。本展ではマティスのパレットと「《赤い室内の緑の少女》のための習作」を展示しています。

マティスのパレットは紙に絵具を丸くつけたものとなっており、本人による色味のメモ書きが添えられています。わずかな色のグラデーションも並べてありますが、本人によるメモで色の区別の仕方なども見られます。

色のメモはフランス語で書かれていますが、解説パネルのご用意もあり

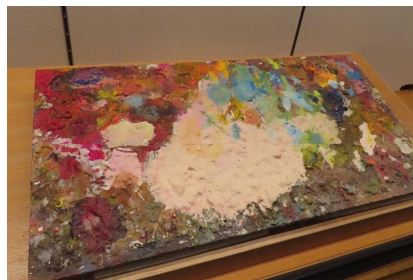
ります。内容が気になる方はぜひ会場で展示されているパネルをご覧ください！



↑マティス「パレット」1943年ころ

・奈良美智「パレット」(作家蔵)

弘前出身で、今なお活躍を続けている芸術家、奈良美智氏のパレットも、今回特別出展しております！弘前ならではの展示ですので、お見逃しなく！また、弘前れんが倉庫美術館など、弘前市内では随所に奈良作品が見られるので、それらと合わせてご覧いただき、お楽しみいただきたいと思います。



▲奈良美智パレットの展示風景

【展覧会関連イベントのお知らせ】

①トークショー「パレットコレクションの秘密」

6月7日(土)13:30～

ゲスト:笠間日動美術館 副館長

長谷川 智恵子 氏

☞ここでしか聞けないパレットコレクションや画家たちにまつわるエピソード

を知ることができるチャンスです！

②「8の日」ミニ解説

会期中 8日・18日・28日 14時～

☞学芸員が本展をミニ解説します。代わりばんこで担当していますので、違う学芸員の回を聞き比べても面白いかもしれません。

①②いずれのイベントも「事前申込不要」です！ぜひご参加ください！

【グッズ販売コーナーも展開中！】

受付カウンターでは、本展の図録『笠間日動美術館パレット選集』を販売中です！本書では、展示に出ている作家も含めて50作家以上のパレットを紹介しており、見ごたえたっぷりの内容となっております。

さらに図録以外にも、各種書籍や色々なパレットや絵画作品を使用したクリアファイルやポストカード、一筆箋などもございます！ご来館の際は、要チェックですよ！



▲グッズ販売コーナーのようす

(「巨匠たちのパレット&絵画展」担当学芸員 工藤)

■休館日のお知らせ

7月14日(月)～31日(木)

上記期間は博物館の利用ができません。あらかじめご了承ください。